

[構想の概要] (計画当初版概要)

「京都大学次世代地球社会リーダー育成プログラム (Kyoto University Programs for Future International Leaders: K. U. PROFILE: ケーユープロファイル)」の概要

世界を取り巻く現代的な課題には、環境、エネルギー、都市化、貧困と人間の安全保障などがあげられる。これらの問題を解決し、安定した地球社会の発展に貢献することは高等教育機関に課せられた重要な使命である。京都大学はその理念のなかで「教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力を持つ人材を育成すること」を謳っている。この理念に基づき、京都大学では**K. U. PROFILE**の構想を提案する。

1. K. U. PROFILEの目標と達成のための施策

K. U. PROFILEの目標は、京都大学の持つ世界最先端の独創的な研究資源を活かし、地球社会の現代的な課題に挑戦する次世代のリーダー育成のための教育である。成長著しい**アジア**、人材開発が喫緊の課題である**アフリカ**、研究・教育の蓄積豊富な**欧米**からの優れた留学生を集め、ともに学ばせる。併せて本学の充実した海外ネットワークを活用し、日本人学生の海外体験を促進し、将来、世界のリーダーとなる国際人を育てることを目指す。以下のような施策を実施する。

- ① 優れた留学生獲得のために**英語のみで学位を取得できるコース**を新設する。学部における英語コースのさきがけとして、アジアを中心とする途上国の都市開発・社会基盤整備・防災など幅広い分野に対応できる人材開発を目指す「地球工学科国際コース」を開設する。同時に、環境・エネルギー・防災・生命・農業・情報・霊長類研究・経営など本学独特の最先端科学を探究する8研究科・研究所において英語のみで修士・博士学位の取得できるコースを開設する。このため、国際公募により外国人教員を採用するとともに、日本人教員の海外研修を実施する。
- ② 多くの研究所を持つ本学の特色を活かし、研究所の多様な教員の協力を得て、少人数教育、フィールド実習など**国際競争力ある教育**を実施し、国際的人的ネットワークの構築を行う。
- ③ **ベトナム、エジプト**および**中国**を**受入重点国**として設定する。本学はベトナムにおいてアジア・プラットフォームを設置し、最先端の防災・環境プロジェクトを実施している。アフリカにおいては長いフィールドワークの伝統を持ち、現在はエジプト日本科学技術大学 (E-JUST) の設立に深く関与している。ベトナムには拠点を設置し、留学生受入のための**共同利用拠点**とする。中国重点大学では平成20年度に任命した海外アドバイザーを通じて優れた学生の招致を行う。
- ④ **英語での学生選抜**という新しい試みとして、日本留学試験・当該国の統一試験・IELTSやTOEFLの活用、遠隔テレビ会議を利用した面接などの工夫を行う。この際、アジア・アフリカに広がる本学卒業生のネットワークを活用し、**国際的な留学生獲得網**を整備する。
- ⑤ **留学生受入環境の整備**として、秋期入学の導入、留学生宿舍の増設、英語に堪能な職員の採用・配置・教育、日本語日本文化教育の強化、生活アドバイザーの増員、日本人学生による支援サークルへの援助などを積極的に行う。またこれまでの実績を踏まえ卒業後のキャリア形成を意識した教育を行い、**日本での就職**を含めての指導を行う。
- ⑥ 欧米の協定締結大学と連携し京都の特性を活かした「京都で学ぶアジア学と日本学」などを含む柔軟で多様な**短期交流プログラム**を実施する。**日本人学生の交換留学**を促進し、日本人学生の海外体験に資する国際交流プログラムを充実させる。

2. K. U. PROFILEの実施体制

K. U. PROFILEは現在実施中の文部科学省の国際戦略本部強化事業と大いに関連するものであり、現在策定中の平成22年度からの**次期中期目標・中期計画**においても教育の国際化は本学の重点目標の一つである。**K. U. PROFILE**については**総長を最高責任者**として**教育・学生・国際(教育)担当理事**等が実施責任者となる**全学体制**とする。**K. U. PROFILE**の取り組みについて意見を聞くために、外国人・日本人外部委員による**学外諮問委員会**を設置する。

3. K. U. PROFILE の10年後の目標

K. U. PROFILEの実施により、外国人正規学生および海外協定締結大学からの受入学生を増加させ、平成32年度には本学の留学生受入れ数を3,200名、外国人教員比率10%程度とすることを目指す。

K. U. PROFILEを遂行しこれらの目標を達成することによって、京都大学の教育は国際的により一層魅力あるものとなり、国際的な知の創造に貢献するとともに、我が国の国際的地位向上に大いに寄与することとなる。

[構想の概要] (組み立て直し後修正変更版)

「京都大学次世代地球社会リーダー育成プログラム (Kyoto University Programs for Future International Leaders: K. U. PROFILE: ケーユープロフィール)」の概要

世界を取り巻く現代的な課題には、環境、エネルギー、都市化、貧困と人間の安全保障などがあげられる。これらの問題を解決し、安定した地球社会の発展に貢献することは高等教育機関に課せられた重要な使命である。京都大学はその理念のなかで「教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力を持つ人材を育成すること」を謳っている。この理念に基づき、京都大学では**K. U. PROFILE**の構想を提案する。

1. K. U. PROFILEの目標と達成のための施策

K. U. PROFILEの目標は、京都大学の持つ世界最先端の独創的な研究資源を活かし、地球社会の現代的な課題に挑戦する次世代のリーダー育成のための教育である。成長著しい**アジア**、人材開発が喫緊の課題である**アフリカ**、研究・教育の蓄積豊富な**欧米**からの優れた留学生を集め、ともに学ばせる。併せて周辺の大学とも協力し、日本の大学の充実した海外ネットワークを活用し、日本人学生の海外体験を促進し、将来、世界のリーダーとなる国際人を育てることを目指す。以下のような施策を実施する。

- ① 優れた留学生獲得のために**英語のみで学位を取得できるコース**を新設する。学部における英語コースのさきがけとして、アジアを中心とする途上国の都市開発・社会基盤整備・防災など幅広い分野に対応できる人材開発を目指す「地球工学科国際コース」を開設する。同時に、環境・エネルギー・防災・生命・農業・情報・霊長類研究・経営など本学独特の最先端科学を探究する8研究科・研究所において英語のみで修士・博士学位の取得できるコースを開設する。このため、国際公募により外国人教員を採用するとともに、日本人教員の海外研修を実施する。
- ② 多くの研究所を持つ本学の特色を活かし、研究所の多様な教員の協力を得て、少人数教育、フィールド実習など**国際競争力ある教育**を実施し、国際的人的ネットワークの構築を行う。
- ③ **ベトナム、エジプト**および**中国**を**受入重点国**として設定する。本学はベトナムにおいてアジア・プラットフォームを設置し、最先端の防災・環境プロジェクトを実施している。また、アフリカにおいては長いフィールドワークの伝統を持ち、現在はエジプト日本科学技術大学 (E-JUST) の設立に深く関与している。ベトナムに設置した拠点では、日本の大学による情報発信や留学生受入れなど、現地で活動するための**共同利用拠点**とする。中国では、重点大学を中心に、平成20年度に任命した海外アドバイザーを通じて優れた学生の招致活動を実施している。
- ④ **英語での学生選抜**という新しい試みのため、日本留学試験・当該国の統一試験・IELTSやTOEFLの活用、遠隔テレビ会議を利用した面接などの工夫を行っている。この際、アジア・アフリカに広がる本学卒業生のネットワークを活用し、**国際的な留学生獲得網**を整備する。
- ⑤ **留学生受入環境の整備**として、秋期入学の導入、留学生宿舎の増設、英語に堪能な職員の採用・配置・教育、日本語日本文化教育の強化、生活アドバイザーの増員、日本人学生による支援サークルへの援助などを行っており、また、これまでの実績を踏まえ、卒業後のキャリア形成を意識した教育を行い、**日本での就職**を含めての指導を行う。
- ⑥ 欧米の協定締結大学と連携し、京都の特性を活かした「京都で学ぶアジア学と日本学」などを含む柔軟で多様性ある**短期交流プログラム**を実施して行く。また、**日本人学生の交換留学**を促進し、日本人学生の海外体験に資する国際交流プログラムを充実させる。
- ⑦ 他の大学とのネットワークを構築し、海外に向けての情報発信や留学生に対する教育・就学支援を協力して行うほか、日本人学生の海外体験の促進についても連携・協力する。
- ⑧ 産業界との連携体制を構築し、教育内容や就職支援など、出口戦略を見据えた教育活動を展開する。

2. K. U. PROFILEの実施体制

第二期中期目標・中期計画においても、教育の国際化は本学の重点目標の一つである。**K. U. PROFILE**については**総長を最高責任者**として、**学生担当理事**等が実施責任者となる**全学体制**を敷いている。このほか**K. U. PROFILE**の取り組みについて意見を聞くために、外国人・日本人外部委員による**学外諮問委員会**を設置している。

3. K. U. PROFILE の10年後の目標

K. U. PROFILEの実施により、外国人正規学生および海外協定締結大学からの受入学生を増加させ、平成32年度には本学の留学生受入れ数を3,200名、外国人教員比率10%程度とすることを旨とする。

K. U. PROFILEを遂行し、周辺大学とともにこれらの目標を達成することによって、我が国の高等教育は国際的により一層魅力あるものとなり、国際的な知の創造に貢献するとともに、我が国の国際的地位の向上に大いに寄与することとなる。

[進捗状況の概要]

1. 全体状況

京都大学のG30プロジェクトであるK.U.PROFILEについては順調な進捗を見ている。

高等教育の国際化はその速度をますます速めている。高等教育の競争力はその国の競争力の源と多くの国では考えられている。本学は世界の最先端大学を目指しており、中期目標・計画の教育目標にも「学生海外派遣制度の充実と留学生受入体制の強化」を謳っており、K.U.PROFILEはそのための重要なステップである。実施にあたっては、総長を最高責任者とする全学体制をとり、学生担当副学長を構想責任者として、学内諮問委員会、学内実行委員会を定期的に開催し、進捗状況のチェックと必要な改善を行ってきた。

2. コース開設および留学生数

K.U.PROFILEの予定された英語コースはすべて予定通りに開設をされてきている。学部では工学部の国際コースが平成23年4月に開設され、大学院についても9研究科1専門職大学院で平成22年度に6コース、平成23年度に5コースが開設された。これらのコースについては既に学生受入を行っており、平成22年度末の受入学生数は36人、平成23年4月現在の受入学生は150人となっている。英語で学習できる環境を提供したことにより、アジア、中東、アフリカ、中南米、欧州など幅広い国々からの学生招致を行うことが出来た。全学の留学生数も平成22年度末には約2,000名と当初目標を上回っている。

3. 国際的に競争力あるコース開設

国際的な競争力を持つコース開設のための準備を進めている。K.U.PROFILEの実施部局では全学で28人の外国人教員を新たに採用した。これらの教員は国際公募で募集され優れた研究教育業績を持つものである。これらの教員をコアに日本人教員も参加してカリキュラム作成を進めており、また全学および各部局でのFD活動を展開している。

4. 重点受入国での取り組み

重点受入国であるベトナムにはG30予算の支援を得て、ベトナム国家大学ハノイ校との共同オフィスを開設し、全国の大学の共同利用拠点としてのサービス提供を行っている。重点地域のエジプト(アフリカ・中東)中国についても積極的な展開を行っている。エジプトおよびアフリカ、中東では留学フェアへの参加、独自の説明会などを行い、また中国でも多くの説明会を開催したほか、中国を中心に受験生の利便性向上と、入学者の質の向上を目的に東アジア圏アドミッション・アシスタンス・オフィスを開設した。また、中国で任命された海外アドバイザーも広報業務等に活躍している。

5. 学生受入環境の整備

学生受入環境の整備については、英語での入試を基本にし、書類による審査、現地に出張しての面接、遠隔会議システムを利用した面接などを行い、志願者への便宜を図っている。多くの海外留学フェアに積極的に参加するとともに、本学の特色に合った学生募集のための個別説明会等も世界中で数多く開催している。またホームページなどを通じて開設コースや本学の先端的な研究について、積極的に情報提供を行っている。多くの研究科での秋入学を実施している。新たに国際宿舎を一棟取得したほか、今後の学生増加をにらみ新宿舎の建設に着手している。K.U.PROFILE学生のための奨学金・学費免除枠を設け、優れた学生招致の一助としている。部局での英語対応が可能となるよう英語に堪能な職員を参加部局に配置しており、また学内文書の英文化を集中的に進めた。

6. 日本人学生の海外

K.U.PROFILEでは日本人学生の海外派遣にも積極的に取り組んでおり、各部局での派遣プログラムに加えて、全学レベルでの新たな語学異文化研修プログラムの組成を強化している。交換留学先として人気の高い英語圏の学生交流協定校を増やすとともに、豪州と中国への短期語学異文化研修プログラムや米国でのインターンシッププログラムを全学レベルで開発している。この結果、平成22年度は643名の日本人学生を海外派遣している。

7. 今後の課題

高等教育の国際化が世界中で進展し、また我が国もグローバル化の渦中にある。K.U.PROFILEの掲げる「京都大学の最先端の独創的な研究資源を活かし、地球社会の現代的な課題に挑戦する次世代のリーダー育成」はますます重要となる。本学はこれまでの取り組みに加えて、大学間連携の強化と産学連携の強化、日本人学生の一層の国際化を進めていきたい。大学間連携の強化については、これまでの成果のなかで大学間で共有できるもの、たとえば学内文書の英文化の成果共有、FD活動の共有化、留学生の就学支援などを行ってきたい。産学連携については、留学生の就職支援、インターンシッププログラムの開発、産業界からの講師招聘などの取り組みを行う。日本人学生の国際化は、「グローバル人材」の育成として今後重要なテーマであり、K.U.PROFILEの成果を活かし本学全体の国際化を進めるなかで実施していく。